

皮膚科

1. 概要

2015年の皮膚科は、2014年に引き続き山田、鈴木、佐藤、横山、榊原の5人体制である。

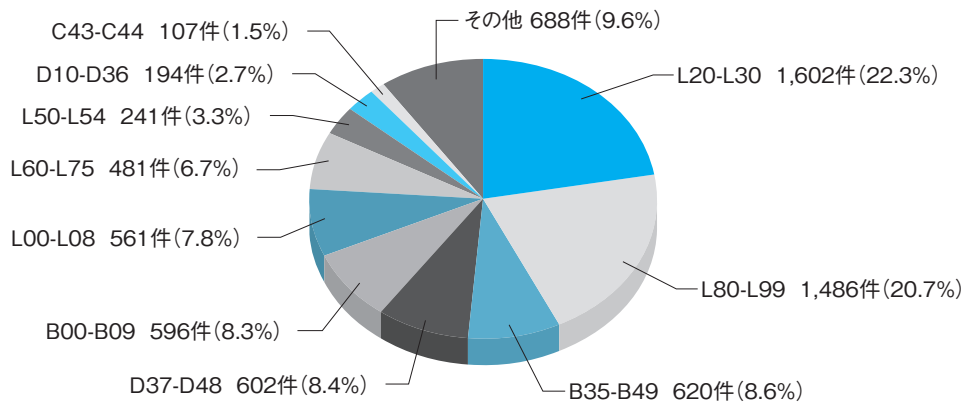
外来の患者数は増加傾向にある。これは、豊橋市、田原市、蒲郡市で常勤医師がおり、入院治療可能な皮膚科が当院だけであることが主因と思われる。

入院診療に関しては蜂窩織炎、帯状疱疹、褥瘡感染などの感染症で緊急入院した患者が多かったように思う。

(部長 山田 元人)

2. ICD-10による疾患別頻度

新規登録特有疾患件数：7,178件



ICD-10 中間分類項目

L20-L30	皮膚炎及び湿疹
L80-L99	皮膚及び皮下組織のその他の障害
B35-B49	真菌症
D37-D48	性状不詳又は不明の新生物
B00-B09	皮膚及び粘膜病変を特徴とするウイルス感染症
L00-L08	皮膚及び皮下組織の感染症
L60-L75	皮膚付属器の障害
L50-L54	じんま<蕁麻疹>疹及び紅斑
D10-D36	良性新生物
C43-C44	皮膚の黒色腫及びその他の皮膚の悪性新生物

3. 活動報告

(1) 悪性新生物

	疾患名	件数(件)		疾患名	件数(件)
1	有棘細胞癌	52	5	乳房外パジェット病	3
2	基底細胞癌	36		その他	17
3	悪性黒色腫	11		計	124
4	皮膚腫瘍	5			

(2) 良性腫瘍、熱傷、膠原病

	疾患名	件数(件)		疾患名	件数(件)
1	良性腫瘍	1,107	5	皮膚筋炎	4
2	熱傷	105	6	全身性エリテマトーデス	2
3	血管炎	44		計	1,270
4	全身性強皮症	8			

学会発表（医局）

<皮膚科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	発表年月日
1	女性陰部乳房外Paget病切除後の薄筋皮弁での再建	筆頭演者	山田 元人	第31回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会	2015/7/3
2	下口唇の有棘細胞癌に対してDPflapを用いて再建した一例	筆頭演者	榊原 倫子	第31回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会	2015/7/3